

1 総合教育会議とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成 27 年 4 月 1 日から施行されたことにより、市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進するために設置された会議

2 過去開催の議題と要旨

平成 27 年度	第 1 回 (H27. 4. 16)	1. 霧島市教育振興に関する施策の大綱について <p>国の教育委員会制度の改革を受けて、本市初めての総合教育会議を前田終止市長及び教育委員 5 名で開催しました。その中で、霧島市教育振興基本計画後期計画の基本目標や重点施策の内容とその方向性について説明を受けた上で協議を行い、本計画の第 2 章までを本市の教育に関する総合的な施策の大綱とすることと決定しました。</p> <p>そのほか、市長と教育委員会の相互の関係について協議し、地域づくりと教育の双方を推進していくために、更なる連携を図っていくことを確認しました。また、市長の学校訪問や霧島市文化振興基金の活用についても協議を行い、今後も引き続き検討することとしました。</p>
	第 2 回 (H27. 12. 21)	1. 家庭の教育力について 2. 平成 28 年度霧島市教育委員会の主要事業について <p>家庭の教育力について、学校教育に見る状況及び教育委員会や学校での取組の報告を受け、協議を行いました。その中で、国分上小川地区の「うぶすな会」をはじめとした地域での取組や家庭での取組について議論が行われ、学校や家庭・地域との連携が教育力向上に不可欠であることを確認しました。また、教育に関係する様々な成功事例を学びとして広げていくために、その集成と広報について引き続き検討を進めることとしました。</p> <p>そのほか、教育委員会の平成 28 年度実施予定の主要事業について報告を受けるとともに、市長の学校訪問について報告を受け、今後も継続していくこととしました。</p>

平成 28 年度	第 1 回 (H28. 6. 27)	1. 人口流出防止に向けた教育行政の取組について 2. 市民・団体が自主的に取り組んでいる活動事例について
		<p>人口流出防止に向けた教育行政の取組について、昨年度、策定された「霧島市ふるさと創生総合戦略」の中から「地元の学生や若者、女性と地元の企業を“繋ぐ”地元就職マッチング」としての企業訪問や「子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進」として、奨学資金制度の見直し等について、協議を行いました。</p> <p>また、前回の総合教育会議において、引き続き検討することとした、教育に関係する様々な市民活動等の成功事例集について、報告を受け、その活用等について協議を行いました。</p>
	第 2 回 (H28. 12. 20)	1. キャリア教育について 2. 平成 29 年度霧島市教育委員会の主な予算要求事項について
		<p>本県における高校卒業者等の地元企業就職率が著しく低い状況を踏まえ、地元どんな企業があるかを知ることで進路選択の幅を広げ、将来的に地元就職率・進学率を高めるとともに、若者の人口流出防止を図るため、中学生のキャリア教育の充実策について、協議を行いました。その中で、地元企業について、教職員や保護者の認知度を高める取組が必要であることが確認されました。</p> <p>また、平成 29 年度霧島市教育委員会の予算要求内容について、各課所管の主な事業の説明を受け、協議を行いました。</p>
平成 29 年度	第 1 回 (H29. 6. 27)	1. 児童生徒の貧困対策について 2. 児童の放課後対策について
		<p>『児童生徒の貧困対策』については、準要保護世帯の方々を対象とした就学援助費の額（給食費の全額補助）及び支給時期（入学前）の改善について協議を行いました。就学援助費の額については、将来に渡り財源の確保が必要であることや給食費の滞納問題などの課題、支給時期については、対象者の判定基準となる所得の把握方法などの課題もあるため、今後さらに議論を深めてまいります。</p> <p>『児童の放課後対策』については、放課後児童クラブをはじめとする本市における児童の放課後対策の取組みの状況を確認するとともに、今後も子育て世代の働いている保護者の方々が、子育てしやすい環境づくりへの取組みについて協議を行いました。</p>

平成 29 年度	第 2 回 (H30. 1. 18)	<p>1. 霧島市史の編さんについて</p> <p>2025 年に霧島市制 20 周年を迎えることから、その記念事業として「霧島市史」の編さんの検討について議論を行いました。</p> <p>市史は、これまでの歴史を知り、郷土に親しみと誇りを持つことができるツールとして欠かすことができないものであるとの意見が出されました。</p> <p>本市における今日に至るまでの市町村合併や歴史の変遷、また、特色ある地域文化や伝統行事、歴史的遺産（文化財）を今後、市民共有の財産として後世に継承していくための「霧島市史」の必要性について認識を深めました。</p>
平成 30 年度	第 1 回 (H30. 6. 26)	<p>1. 児童生徒のスポーツ活動や文化系活動に対する支援について</p> <p>スポーツ、文化部門において全国レベルの活躍をしている児童生徒も多く見られる中、大会参加の費用等の経済面で苦慮しているケースも見受けられます。そのようなことから、今回は、本市における部活動、スポーツ少年団、個人競技で活躍している団体あるいは個人に対する支援状況について「児童生徒のスポーツ活動や文化系活動に対する支援について」と題し議論を行いました。</p> <p>昨今、競技力向上に向けた取組が求められる中、本市の支援（補助金）の在り方について、県内他自治体の支援との比較をした上で限度額及び対象等を検討する必要があるのではないかという意見が出されました。また、部活動については、教員の働き方改革、部活動の質的な向上を図る上での部活動指導員の任用についても議論を行いました。</p>
平成 30 年度	第 2 回 (H30. 11. 16)	<p>1. 児童生徒の健全育成について 2. 通学区域の現状と課題について</p> <p>「児童生徒の健全育成について」、「通学区域の現状と課題について」の 2 点の議題について議論を行いました。</p> <p>1 点目の「児童生徒の健全育成について」は、昨今、ネットゲーム依存が、生活の昼夜逆転による不登校やオンラインゲームを通じたいじめへと発展するケースなど、深刻な社会問題となって</p>

		<p>いることから、ネットゲーム依存の問題、児童生徒の問題行動・不登校の問題を取り上げ、本市における現状と課題について認識を深めました。</p> <p>2点目の「通学区域の現状と課題について」は、対象となる小学校における児童数の現状と推移見込みを確認し、通学区域の適正化及び校舎増築の課題等についてを議論をしました。</p> <p>2点の議題については、今後も引き続き関係部署で協議を重ねながら検討していくこととしました。</p>
令和元年度	第1回 (R1.6.28)	<p>1. 児童生徒のスポーツ活動や文化系活動に対する支援について</p> <p>本市における部活動、スポーツ少年団、個人競技で活躍している団体あるいは個人に対する支援状況について「児童生徒のスポーツ活動や文化系活動に対する支援について」と題し、平成30年度第1回総合教育会議に引き続き、本市の支援（補助金）の在り方に関する議論を行いました。</p> <p>具体的には、昨年度の議論を踏まえた制度の見直し状況についての情報共有を行い、更なる支援を図るための議論を行いました。</p>
令和元年度	第2回 (R1.11.20)	<p>1. 第二次霧島市教育振興に関する施策の大綱について</p> <p>現行の「霧島市教育振興基本計画後期計画（霧島市教育振興に関する施策の大綱）」の計画期間が今年度で終了することから、令和2年度からの「第二次霧島市教育振興基本計画（案）」の基本目標や重点施策の内容とその方向性について説明を受けた上で協議・調整を行いました。</p>
令和元年度	第3回 (R1.12.19)	<p>1. 第二次霧島市教育振興に関する施策の大綱について</p> <p>令和元年度第2回総合教育会議において行った「第二次霧島市教育振興基本計画（案）」に係る協議・調整の結果を確認し、本計画をもって本市の教育振興に関する施策の大綱に代えることを本会議において決定しました。</p>

令和 2 年度	第 1 回 (R2. 6. 10)	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策と学校教育について</p> <p>3月から4月にかけて実施した学校休業の総括や、タブレットPCを全児童・生徒に配備する「ギガスクール構想」、修学旅行や夏季の補充指導、9月入学などについて意見を交わしました。</p>
令和 3 年度	第 1 回 (R3. 6. 25)	<p>1. こども・くらし相談センター（にじいろ）発足後の具体的な取組と実績、今後の連携に関する方策について</p> <p>2. 35人学級制移行等に伴う今後の学級数の見通しについて</p> <p>多様化・複雑化する福祉ニーズや複合的な課題を抱える市民の相談に応じる包括的な総合相談窓口として令和2年4月に開設した「こども・くらし相談センター（にじいろ）」における相談状況や関係部署・機関との連携など、開設後の現状と課題について協議を行いました。</p> <p>また、35人学級への移行や、特別支援学級の増加に伴う市内小学校の教室不足への対応について協議を行いました。</p>
令和 3 年度	第 2 回 (R4. 2. 14)	<p>1. 子どもの貧困について</p> <p>様々な社会的要因により問題となっている「子どもの貧困」について、本市における現状と課題、実際の対応事例等について情報を共有し、今後の支援に向けた協議を行いました。その中で、困っている子どもの早期発見等について議論が行われ、各課や学校、関係機関の更なる連携が重要であり、今後も引き続き、連携強化に向けた取組を進めることを確認しました。</p>
令和 4 年度	第 1 回 (R5. 2. 9)	<p>1. 休日における中学校部活動の地域移行について</p> <p>2. 本市における学校の現状と課題について</p> <p>公立中学校の休日の部活動を地域団体や民間事業者に委ねる「地域移行」について、本市の部活動の実態を踏まえ、今後必要となる体制や環境等の整備に向けて協議を行いました。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえた本市の児童・生徒の学力や、不登校、いじめ問題等の現状や課題について情報共有を図りました。</p>

令和 5 年度	第 1 回 (R6. 2. 13)	<p>1. 本市における学校の現状と課題について</p> <p>2. 本市におけるフリースクールの現状について</p> <p>3. 小学校運動会のあり方について</p> <p>本市の児童・生徒の学力、体力及び不登校の現状や課題、フリースクールの開設・運営状況や教育委員会としての対応状況について情報共有を図り、意見交換を行いました。</p> <p>また、小学校運動会の実施状況と今後の開催のあり方について情報共有を図り、意見交換を行いました。</p>
------------	----------------------	---